

青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 15 号

平成15年 4月 1日

所蔵作品紹介

(14)



「赤絵付香炉」

柿右衛門 作

入館者10万人達成

小林さんに記念品

青井記念館美術館の来館者数が11月27日、10万人を達成しました。

10万人目となった、上平村椿の小林末子さん(71歳)は、この日、雨あられの悪天候ではありましたが、開催中の第9回青井中美展に展示されている孫の作品を見るために来館されたとのこと。

久津武司学校長から「認定書」が、は

ぐくみ会会長玉井晶夫氏から工芸科3年生加納麻衣子作の漆「菓子器」が記念品として贈呈されました。

追って、前後者には「美術館収蔵作品図録」が贈呈され、10万人達成記念式を終えました。

ちなみに5万人達成は平成9年9月11日でした。

同窓会ギャラリー

竹田貞郎・顔の世界展

12月22日(日)～1月18日(土)

元本美術館館長、青井中美展審査員を勤められるなど日頃よりお世話いただいている竹田貞郎先生の展覧会が開催されました。竹田先生は、昭和24年木材工芸科卒業、教職の傍



第九回青井中美展

毎年恒例となった、青井中美

展も今年で第9回を迎え、県内51の中学校から選抜された作品879点のうち厳しい審査のもと選考された入賞・入選作品341点が、美術館内に展示されました。

青井大賞・清水佑香さんの「大輪」は、大きな画面いっぱいに自分の表現したいものを素直に描き上げられた秀作と審査員も絶賛。

片田裕美さんの「view」は宇宙の中の地球を目と心を通して表現。独自のレイアウト、色彩や細部にわたる丁寧な描き込みなど群を抜いた秀作。

古嶋宏明君「白塔」は、発泡スチロールと石膏の素材を生かし、現代的ですががしい作品。



11月20日(水)～12月8日(日)

各受賞者

青井大賞	清水佑香(南星)
富山県知事賞	片田裕美(吉江)
富山県教育委員会教育長賞	古嶋宏明(吉江)
最優秀賞	田中歩見(高岡西部)
優秀賞	小林圭介(上平)
富山新聞社優秀賞	瀬戸あゆみ(高岡西部)
チューリップテレビ優秀賞	尾田克人(庄西)
優秀賞	尾島佐知子(滑川)
優秀賞	笠原茜(利賀)
富山新聞社優良賞	安川香寿美(庄西)
富山新聞社優良賞	山口築樹(芳野)
チューリップテレビ優良賞	堺井進一郎(庄西)
チューリップテレビ優良賞	滝本雅(滑川)
佳作	鑑高健志(西条)
佳作	井口達也(吉江)
佳作	村西望(牧野)
佳作	堀田優子(富山西部)
佳作	新開康平(牧野)
佳作	西井ひかり(吉江)
佳作	齊藤愛子(滑川)
佳作	高倉雅子(魚津東部)
佳作	伊勢呂秋菜(福岡)
佳作	藤原愛(庄西)

ら幅広い分野の作品を発表し続けておいでます。今回は顔の版画作品28点と、立体オブジェ6点を展示。

高岡市作家連盟写真部会員展

1月26日(日)～2月15日(土)

恒例の高岡市作家連盟写真部の会員24名による力作を展示。多くの写真ファンが訪れ、見応えのある展覧会となりました。



同窓生三人展

3月11日(火)～3月29日(土)

昭和39年金属工芸科を卒業し、しばらくしてプロの道に進んだ船木佳彦、企業勤めの傍ら金工・日本画の道に進んだ荒井仁一・山田栄龍の3人が、日頃の成果を発表したもので、多くの人に感動を与えた展覧会でした。



所蔵作品紹介

(14)

「赤絵付香炉」

柿右衛門 作

表紙

青井記念館美術館には、現在九十点余りの陶磁作品を所蔵しておりますが、今回紹介した「赤絵付香炉」は陶芸評論家で鑑定の権威でもあった小山富士夫さん(1900年3月24日～1975年10月7日)の鑑定を受けた作品で、江戸時代に活躍された十代までのどなたかの貴重な作品とされています。

ちなみに、江戸柿右衛門とは、酒井田柿右衛門のこと、初代は、慶長元年有田に生まれ赤絵の創始者であり、代々柿右衛門を襲名し現在に至っています。

卒業課題展

H15年2月25日(火)～3月3日(月)

昨年までは体育館で展示していた卒業制作展ですが、今年は2階展示室を含む美術館全館を使い、全学科(6学科・93作品)の展示を行いました。美術館では、工芸科、デザイン科、建築科の生徒の作品が展示され、生徒、父兄、卒業生をはじめ、一般の幅広い来館者の方に鑑賞していただくことができました。



常設展Ⅱ期、特別展Ⅱ期展

12月17日(火)～2月16日(日)

「明治・大正期の収蔵品の展示」

今回は、絵画9点・彫刻4点・漆器3点・金工5点を、ゆったりとした気分で鑑賞していただきたいと、出品点数を従来より少なくしました。

また、過去あまり展示されなかった創校時の教師の作品を中心に展示しました。

「昭和の絵画」

戦前・戦後に制作された日本画6点・洋画6点を展示。

特に年を越えての展示ということもあって塩崎逸陵氏の、生徒時代を含めた臨海模写の正月に相成り作品も併せて展示しました。

常設展Ⅲ期、特別展Ⅲ期展

3月11日(火)～4月6日(日)

「昭和の名品展」

平面作品を中心に日本画・洋画・漆工など19点を展示。色彩豊かな大作が多く、見ごたえのある展覧会と好評いただきました。

「金工の名品展」

細かな加賀象嵌が話題となった「鐙」と「鐙48個」は、全体に腐食した鉄を磨き、今回が初めての展示となりました。

また、定利作「銅製小型花瓶」の細工の見事さに見入る来館者の姿も多く見受けられました。



催事案内

高岡市美術館

招待作品の展示

4月19日(出)

5月5日(月)

常設展Ⅰ期

本校収蔵品の展示(途中入替)

5月17日(出)

7月27日(日)

文化部合同展

美術・陶芸・写真・クラフト・新聞・茶道部等

7月12日(出)

7月27日(日)

富山県立近代美術館・青井記念館美術館収蔵作品展

8月3日(日)

9月5日(金)

常設展Ⅱ期

本校収蔵品の展示(途中入替)

9月11日(休)

10月5日(日)

第31回同窓生ギャラリー展

下尾和彦・五十里伊規子二人展

9月21日(日)

10月5日(日)

はぐくみ会会員募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。申し込まれた日から一年間会員となります。主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美術)への支援

- 特典
- 1 企画展等の案内
 - 2 はぐくみ会だよりの配布

年会費

- 一般会員(個人) 二,〇〇〇円
- 特別会員(企業、団体等) 一〇,〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先
青井記念館美術館はぐくみ会事務局

編集後記

美術館のお世話をさせていただくようになり、足早に1年…。

特に印象的な出来事といえば、中美展の審査風景を目の当たりにできたことです。

何時間にも及ぶ緊迫した審査の末、「大賞」が選ばれた瞬間の感激は忘れられません。

(川原)

編集発行

富山県立高岡工業高等学校
青井記念館美術館はぐくみ会

住所 933-8518 高岡市中川一丁目二〇
TEL (〇七六六) 二一六三〇(内線85)
FAX (〇七六六) 二一六三一

* 青井記念館のホームページを開設しております。

http://www.tym.ed.jp/sc350/aoi/index.htm

Email school@koge-h.tym.ed.jp